

軍事秘



之迴覽

	...
	...
	...
	...

五十六  
 新軍日  
 一月  
 二十  
 二十

駐定地勤效為規

第29號



軍事艦艇  
五輪駐防第二九號

昭和十八年十月三十一日  
第五野戰輸送司令部



連  
帶

「マングレ」駐屯地業務規定

田  
覽



修  
名  
川  
口

五輪駐防 第二九號	五輪駐防 第二九號	五輪駐防 第二九號
五輪駐防 第二九號	五輪駐防 第二九號	五輪駐防 第二九號
五輪駐防 第二九號	五輪駐防 第二九號	五輪駐防 第二九號



五輪駐防 第二九號

「マングレ」駐屯地業務規定ノ件 達

「マングレ」駐屯地諸部隊一般

「マングレ」駐屯地業務規定本冊、通制定シ昭和十八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

追テ「マングレ」駐屯地勤務規定(昭和十七年十二月二十日)、「マングレ」附近統制地區防空暫行規定(昭和十八年三月二十日)、「曼駐」日命第二九號ヲ昭和十八年十一月三十日限廢止ス

昭和十八年十月三十一日 中兵站地區司令官

配市區分

配市區分	部數	配市先	部數
林司	一	患	八小
五三兵站本部	二	特建	二八中
高射五一大	一	三〇三野部	一
水勤三三中	一	司令部	一
陸勤七九中	一	司令部	一
五特鉄工	一	兵器支廠	一
特設水勤二	一	貨物支廠	一
一三兵站病馬廠	一	自動車支廠	一
膠白工九六	一	六一停司	一
二〇航空補支	一	三特水輸隊	一
特設陸勤一〇	一	一五〇兵廠	一
電一九聯五中	一	同、自動車廠	一

架我三二中	一	一	一
一五軍貨物廠	一	一	一
二一特鉄運輸	一	一	一
心航地区出張	一	一	一
菊經出張	一	一	一
八特鉄工務	一	一	一
五特鉄橋梁	一	一	一
部内部副經送歌	五	一	一
計豫	一	備	四二
備考	報ヲ利用シ所要事項ヲ口達筆記セシム	本區分区分以外ノ駐屯部隊ニ對シテハ駐屯地會	八〇



「マンドレ」駐屯地業務規定目次

第一章	總則	一頁
第二章	兵站地區隊長ノ職域	二
第三章	警備	四
第四章	軍秩軍紀風紀	八
第五章	建物資材	二
第六章	防疫衛生	二
第七章	其、他	一四

「マングレー」駐屯地業務規定

第一章 總則

第一條 本規定ハ中兵站地區司令官ノ「マングレー」駐屯地司令官(以下  
單ニ司令官ト稱ス)タル期間駐屯地業務ニ関シ必要ナル細部ノ事項ヲ規  
定ス

本規定ニ定メタル以外ノ事項ニ就テハ五輸駐防第二八號「第五野戰輸送  
司令部駐屯地業務規定」ニ據ルモノトス

第二條 「マングレー」駐屯地司令部(以下單ニ司令部ト稱ス)ハ第五十三  
兵站地區隊本部(以下單ニ地區隊本部ト稱ス)内ニ之ヲ設ケ

第三條 司令部ノ業務ハ地區隊本部ヲシテ之ヲ兼掌セシメノ所ニ應  
ジ第五野戰輸送司令部職員ヲ以テ之ヲ援助セシム

前項ノ趣旨トスル所左ノ如シ(五輸站命甲第一號其ノ一乃至其ノ三參照)  
一 駐屯地勤務ハ本質的ニ「駐屯地」警備ノ警備ノ警備ニ歸スルモノトシテ  
建築物等ノ維持ヲ又兵站地勤務ハ本質的ニ「此等ノ外ニ通行兵隊

人馬ノ宿泊給養衛生行動區處交通整理行政等ヲ主要業務ト

ス只駐屯地ニ兵站施設ナキトキハ駐屯地勤務トシテ兵站地勤務ノ一部  
ヲ兼行フニ過キス故ニ兵站支部ノ存在スル駐屯地ハ原則的ニ「駐屯地

地勤務ヲ獨立セシムル能ハズ之ヲ兵站地勤務ニ合シシムヘキモノトス但シ  
兵站地區ヲ設定サレ而シテ防衛地區之ト重複シテ依然存置サレタル現態勢ニ

於テ駐屯地司令官ト兵站支部長ト同一人トシテ得サル事情アル限リ此  
種業務ヲ一元化シテ駐屯地諸部隊ノ向ヘテ所ヲ明確ニスルト共ニ警備ノ強

化ヲ助成シ且地區隊能力ヲ遺憾ナク發揮セシムル爲メ地區隊ヲ「實質  
質的ニ司令部ノ業務ヲ兼掌セシムルコト」必要ナリ

第二章 兵站地區隊長ノ職域

第四條 第五十三兵站地區隊長(以下單ニ地區隊長ト稱ス)ハ前二條及  
左ノ諸項ニ準據シテ司令部ノ業務ヲ兼掌シ其ノ的確円滑ナル遂行ニ關シ司

入官輔佐ノ責ニ任スベシ  
ノ第五野戰輸送司令部内閣係機關ト地區隊本部ト間司令部業

務引継ハ必要ノ都度指示スル所ニ據リ地區隊本部ノ業務慣熟ハ  
件ニ逐次之ヲ實施ス

之業務遂行ニ方リテハ本冊規定及第五野戰輸送司令部駐屯地勤務  
規定ニ準據スルノ外必要ノ都度第五野戰輸送司令部若クハ第五野戰  
輸送司令部關係職員ノ命令若クハ通牒等ニ據ルモノトス

3. 司令部ノ業務實施ニ方リテハ爲シ得ル限リ兵站地勤務乃至警備隊  
長業務ノ形式ニ於テ直接「マンダレ」駐屯シ若クハ一時帶留スル諸部隊  
軍人軍屬費スレハ同地官民ヲ對象トシテ之ヲ處理ス但シ必要ニ依リ  
上司等ニ對シ司令部若クハ司令部職員ノ名義以テ駐屯地勤務ノ  
形式ニ於テ處理スヘキモノハ其ノ都度之ヲ指示ス

4. 兵站地ノ業務實施ニ方リ司令部若クハ司令部職員ノ決裁若クハ連帶  
責任スルモノトシテ前條駐屯地勤務ノ實質的業務ト重複スル部分トス

5. 駐屯地副官ハ第五野戰輸送副官ノ外地區隊長ハ部下將校一名ヲ指  
定シ兼務セシムルモノトス

第五條 「マンダレ」駐屯地ニ駐屯スル諸部隊(以下單ニ駐屯部隊ト稱ス)  
及同駐屯地ニ一時帶留スル諸部隊及軍人軍屬(以下單ニ帶留部隊軍  
人軍屬ト稱ス)ハ駐屯地業務ニ關シ第五野戰輸送司令部駐屯地勤務規  
定及本冊規定ノ定ムル所ヲ遵守スヘシ但シ第二乃至第四條ニ據リ五トシ  
テ地區隊長ノ管掌スル兵站地業務乃至警備地區業務ノ形式ニ於テ履行ス  
ルモノトス

第六條 「マンダレ」駐屯地勤務執行ノ區域(以下單ニ駐屯地區域ト稱ス)ヲ  
別紙第一ノ通定ム

駐屯地業務ノ實施ヲ便ナラシムル爲「マンダレ」市域ヲ定メ又其ノ市域東  
ニ區ニ區分スルコト別紙第二ノ如シ

地區隊長ハ「マンダレ」兵站地勤務執行ノ區域ヲ第一項駐屯地區域ニ致セシムル  
モノトス

### 第三章 警備

第七條 駐屯地衛兵ニ關シテハ左ノ通心得ヘシ



- 1 衛兵ノ編成、任務及差出區分別紙第三、如ク其ノ配置別紙第四ノ如ク
- 2 衛兵所ノ施設、衛兵ノ給養ハ各差出擔任部隊長ノ擔任トス
- 3 駐屯地衛兵ハ服務ニ關シ地區隊長ノ區處ヲ受クヘシ  
司令官ニ對スル申告ハ之ヲ要セズ
- 4 地區隊長ハ必要 場合其ノ部下ヲ以テ各衛兵ヲ支援スルモノトス
- 第五條 駐屯地巡察ニ關シテハ左ノ通心得ヘシ  
ノ駐屯地巡察ハ服務ニ關シ地區隊長ノ區處ヲ受ク
- 2 巡察ハ地區隊長駐屯部隊兵員中ヨリ左ノ如ク割出シ遲クモ上當一日  
ノ前迄ニ關係各部隊長ニ駐屯地副官ノ名ヲ以テ差出方依命通牒スル  
モノトス

- (イ) 一旬毎ニ割出ス
- (ロ) 第一種巡察ハ各衛兵所概ネ一旬三回ノ割合ニテ成ルヘク不規ニ巡察セ  
シムル如ク割出ス但シ組ノ巡察ハ三衛兵所迄受持タシム
- (ハ) 第二種巡察ハ毎日少クモ一組ヲ派遣ス但シ主トシテ市内某一乃至數區

巡察ニ止メ一旬概ネ一回市外ヲモ巡察セシムルモノトス

(ニ) 巡察一組ハ巡察將校(軍隊内務命令ニ於テ迴番士官迴番副官ヲリ  
得ル准士官以下ヲ含ム)一隨行者トシテ下士官(下士官勤務兵長ヲ  
含ム)一兵一トス

3 巡察ハ自轉車ニ據ルヲ本則トス但シ巡察差出部隊長ノ責任ニ於テ其  
ノ他ノ輸送機關ヲ用ヒシムルコトヲ得

4 巡察ノ服裝ハ單獨ノ軍裝トス但シ鐵帽、拳銃若クハ銃ヲ携行スルモノ  
トス

第九條 地區隊長ハ別紙第四ニ據リ第一、第二水道監視哨ヲ配置シ且  
之ヲ指揮スヘシ但シ自隊兵刀ヲ充用スルモノトス

第十條 非常警報ニ方リ關係各部隊長ハ左ノ通應急出動兵力ヲ差  
出シ各其ノ兵營ニ於テ出發準備ヲ完了スルト共ニ之ヲ速ニ地區隊長  
連絡セシムルモノトス

差出擔任隊	出動兵力	裝
地區隊	歩一中歩兵砲一 站勤一分 一救護班	一武器・鉄帽・被甲・水筒要 スレハ携帶口糧ヲ携帶ス ルノ外服装ハ成ルルヲ輕裝トス ニ燃料各車一本トス
獨自五九六	自動車一 <small>小</small>	

地區隊長ハ前項兵力ヲ以テ應急部隊ヲ編成シ且之ヲ指揮スルモノトス  
 第十一條 各種警報ノ區分及傳達法別紙第五ノ如シ  
 第十二條 自動車ノ速度(時速)ヲ左ノ如ク定ム

備考	車種		備考
	市内	市外	
貨車	三〇料以下	五〇料以下	各渡船場・停車場ヨリ料迄ノ地域 ハ市外ト雖モ市内ト見做ス
	二五料以下	四〇料以下	
部隊	二〇料以下	三五料以下	要
	二〇料以下	三五料以下	

鐵道踏切通過ノトキハ豫メ列車迎接ノ有無ヲ確メタル後最  
 低速度(第一速度)ニテ通過スルモノトス

第十三條 駐屯地電話網別紙第六ノ如シ

駐屯部隊中暗號書ヲ所持セザルモノ、爲暗號電報ノ組立・翻譯ハ中  
 地地區司令部電報班及地區隊本部ニ於テ別紙第七ノ區分ニ從ヒ之ヲ爲  
 然又留シ滯留部隊、軍人、軍屬、分ハ中兵站地區司令部電報班ノ爲

第四章 軍法 風紀 軍紀

第十四條 市内交通特ニ自動車交通ニ方リテハ緬甸國側交通哨(警

官)ノ指示ヲ嚴守スヘシ  
 地區隊長ハ自發的ニ若クハ命令ニ依リ適時駐屯地内ノ交通整理ニ任  
 スルト共ニ時々斥候巡察ヲ派遣シ自動車交通及自動車照明裝置ノ派  
 光施設ニ關シ檢査・取締ニ任スルモノトス

第十五條 防衛上必要ナル場合第十六兵站衛生隊本部ハ第七所衛司  
 令官代行官ノ請求ニ依リ救護班(箇)ヲ派遣シ且之ヲシテ代行官ノ區處  
 ノ受ケシム



救護班ノ編成左ノ如シ

人	員	材	料	備	要
軍醫副官	一	衛生	隊醫箱一三三号	梱包箱ニ充填シ携行ニ便ナリ	
衛生士官	二	材料	各アノ半数量	シム	
衛生兵	八	擔架	四	應用擔架ヲ用フルントリ得	
計	一二	毛布	一〇〇枚		
		糧秣	一〇〇人一日分		

一人員ノ糞糞トシ個人裝備(衛生材料共)ヲ完備スルニ  
ノトス  
備 考  
ニ本表外恙者自動車(又ハ自動車)トシ(重運子共)トシ  
屬(但シ差出部隊ニシテ備用ナリト)ハ出動行  
最奇部隊トシ配屬スルニ若クハ借用スルニトス

前項救護班ハ明々若クハ「マシ」トシテ於テ編成サルル豫定  
第十六條 各駐屯部隊ノ一般外出日ヲ別紙第八ノ通定ム

新駐屯部隊ノ速カニ地區隊本部ニ連絡シテ其ノ決定ヲ受クルモノトス  
第十七條 一般外出日於ケル外出時限ハ一〇〇ヨリ下士官(判任官)

却井

ニ一〇〇迄(兵以下)官勤務兵(一) (解 音 人) ハ一〇〇迄トシ且  
官内居住下士官以下(含)ハ若クハ中隊内隊員(一)トシテハ  
四里隊内隊員(一)トシテハ(一)トシテハ(一)トシテハ(一)トシテハ

第十八條 各駐屯部隊ノ一般外出日於ケル士官以下外出者ノ服装  
第十九條 日課時限ノ基準別紙第九ノ如シ

第二十條 駐屯所内シテ駐屯地規程所規定(昭和十八年五月二十六日)ニ據ル  
第二十一條 小銃(機關銃)擲彈筒(手榴彈)ヲ含ム射撃場別紙第十

第二十二條 火銃射撃場別紙第十一ノ如シ

第二十三條 前二條ノ射撃場ヲ使用シ若クハ駐屯地内ニ於テ爆破作業  
等ヲ行ハントスル場合ハ部隊長ハ實施二日前迄ニ地區隊長ニ概要  
報告シ地區隊長ハ司令官ニ報告スルニ

部隊同時ニ射撃場使用ヲ企圖シタル場合ハ地區隊長ハ適宜之ヲ統制シ要スルハ使用日ヲ變更セシム

### 第五章 建物ノ管理

第二十四條 新駐屯部隊ノ配宿ニ関シテハ地區隊長ノ案ヲ具シ司令官ノ承認ヲ經タル後駐屯地副官ノ依命通牒トシテ之ヲ其ノ部隊ニ達スルモノトス

第二十五條 新留置部隊軍人軍屬ノ配宿ニ関シテハ地區隊長自ラ之ヲ決定シ其ノ部隊ニ命令(通牒)スルモノトス

第二十六條 配宿ニ関シテハ前二條ノ外別紙第十二其ノ一其ノ二條ノモノトス

第二十七條 地區隊長ハ各部隊營外ニ集積シヤシ軍需資材補給諸廠停車場渡船場附近ニ於ケル資材集積ノ現況ヲ把握シ主トシテ對空掩護ト損廢ノ見地ヨリ司令官及關係部隊ニ狀況及意見ヲ報告通報スヘシ

### 第六章 防疫衛生

第二十八條 傳染病豫防ニ関シテハ駐屯地防疫規定(昭和十八年一月)及「マンガレ」駐屯地軍用動物防疫規定(昭和十八年一月)ニ據ルヘシ

第二十九條 駐屯地内ニ於テ軍人軍屬ノ立入ヲ許ス飲食店果實店等ニ関シテハ別紙第十三ノ通牒トス

地區隊長ハ狀況ニ依リ之ヲ増減スルコトヲ得

第三十條 立入ヲ許ス店ニ其ノ旨明瞭ニ標示スルヲ要ス

第三十一條 衛生上必要アル場合地區隊長ハ適時駐屯地ニ立入禁止區域ヲ設ケ將兵ノ向地區内立入ヲ禁止ス

各駐屯部隊隊長其ノ宿營地附近ニ前項立入禁止區域ヲ必要トスル事情發生セバ取敢テ自己ノ責任ニ於テ之ヲ断行スルト共ニ速カニ地區隊長ニ報告通牒シ爾後地區隊長ニ移管ス

第三十二條 「マンガレ」ニ城周邊ノ水壕ハ附近軍隊及住民ノ爲唯一ノ水源ナルヲ以テ水浴洗濯等ノ汚染ヲ忌及釣魚ヲ禁ス

第三十二條 衛生機關ニ有セサル患者ノ診療ニ関シテハ別紙第廿七條ニ  
得ベシ但シ爾後新駐屯部隊等ノ爲追加改正ヲ要スルモハ地區隊  
長ニ於テ之ヲ決定指命シ司令官ニ報告スルモノトス  
第三十三條 地區隊長ハ駐屯諸部隊ニ衛生巡察ノ差出ヲ命令若クハ  
通牒スルモノトス 衛生巡察ハ地區隊長ノ直轄トス  
衛生巡察ニ組ノ編組 服裝 醫實施要領ハ第二種巡察ニ準スルモ其  
差出回数及區域ハ當時ノ駐屯地衛生狀況其ノ他ニ鑑ミ地區隊長適  
宜定ムルモノトス 通間一回トス  
衛生巡察タル軍醫將校以下ハ軍醫携帶囊 醫藥囊 繃帶囊ヲ  
携帶スルモノトス  
第三十四條 駐屯部隊及滞留部隊勞務者等ヲ雇傭セントスルニ方リ  
テハ該駐發隊四〇號勞務者雇傭並ニ賃金等決定件通牒(昭和十八年  
五月二十九日)及「シタレ」駐屯地勞務者處理要領(昭和十八年四月二日)  
駐屯地司令官)ニ準ジテス

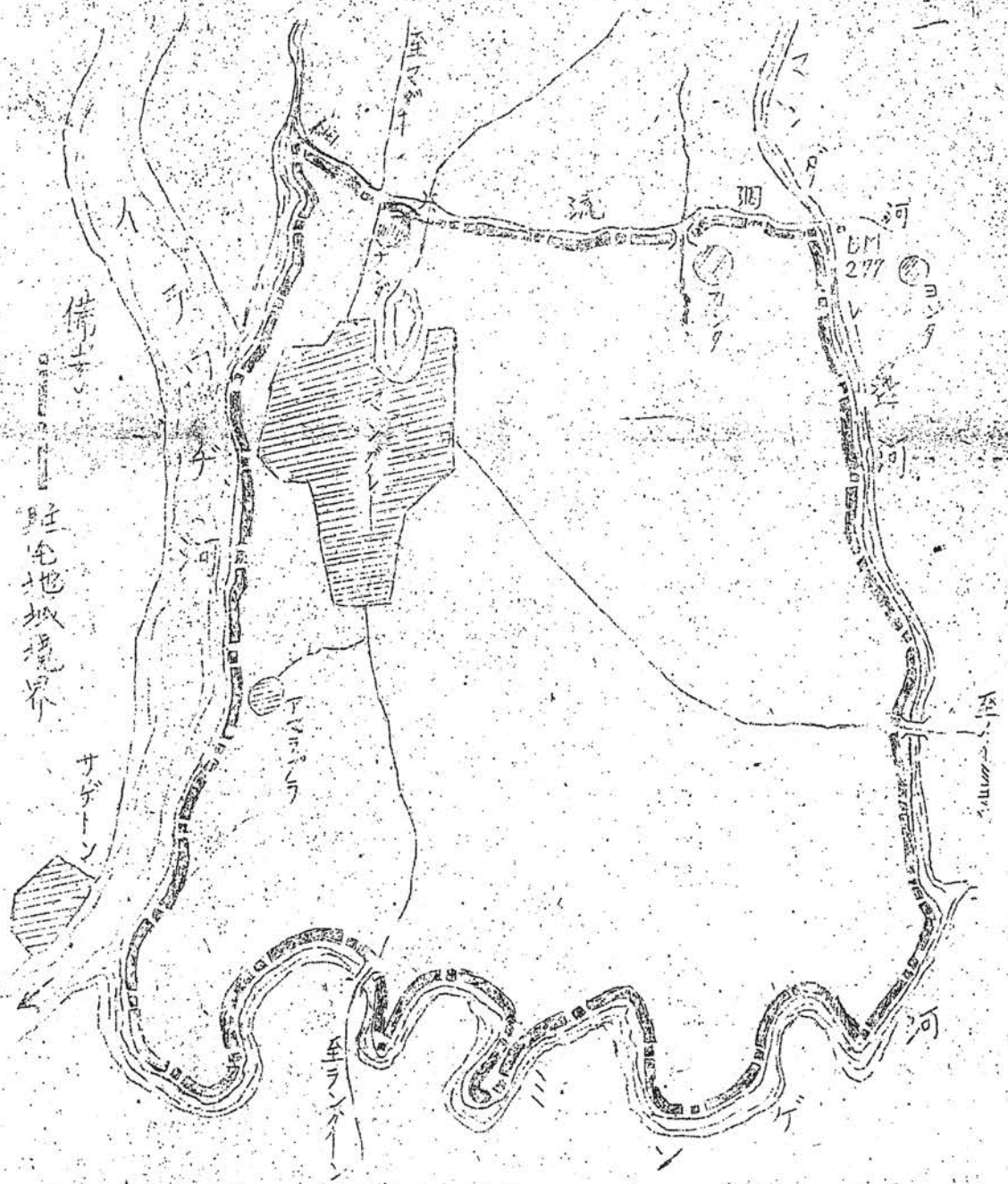
第七章 其ノ他

第三十五條 駐屯地會報ハ其ノ重要度ニ依リ地區隊長若クハ駐屯地  
副官主催ノ下ニ行ヒ其ノ結果ヲ司令官ニ報告スルモノトス但シ駐屯地  
隊長會報ノ場合ハ司令官主催スルコトアリ  
駐屯地會報ハ毎月一日、十一日、二十一日ニ行フヲ例トス  
駐屯地會報ハ通常兵站地會報ヲ以テ兼マルモノトス  
第三十六條 駐屯部隊、滞留部隊及兵站宿舎 宿泊所ハ毎日(駐屯地會  
報實施日ヲ除キ)書類交換ノ爲傳令一名ヲ地區隊本部ニ差出シ引  
續キ第五野戰輸送司令部ニ出頭セシムルモノトス



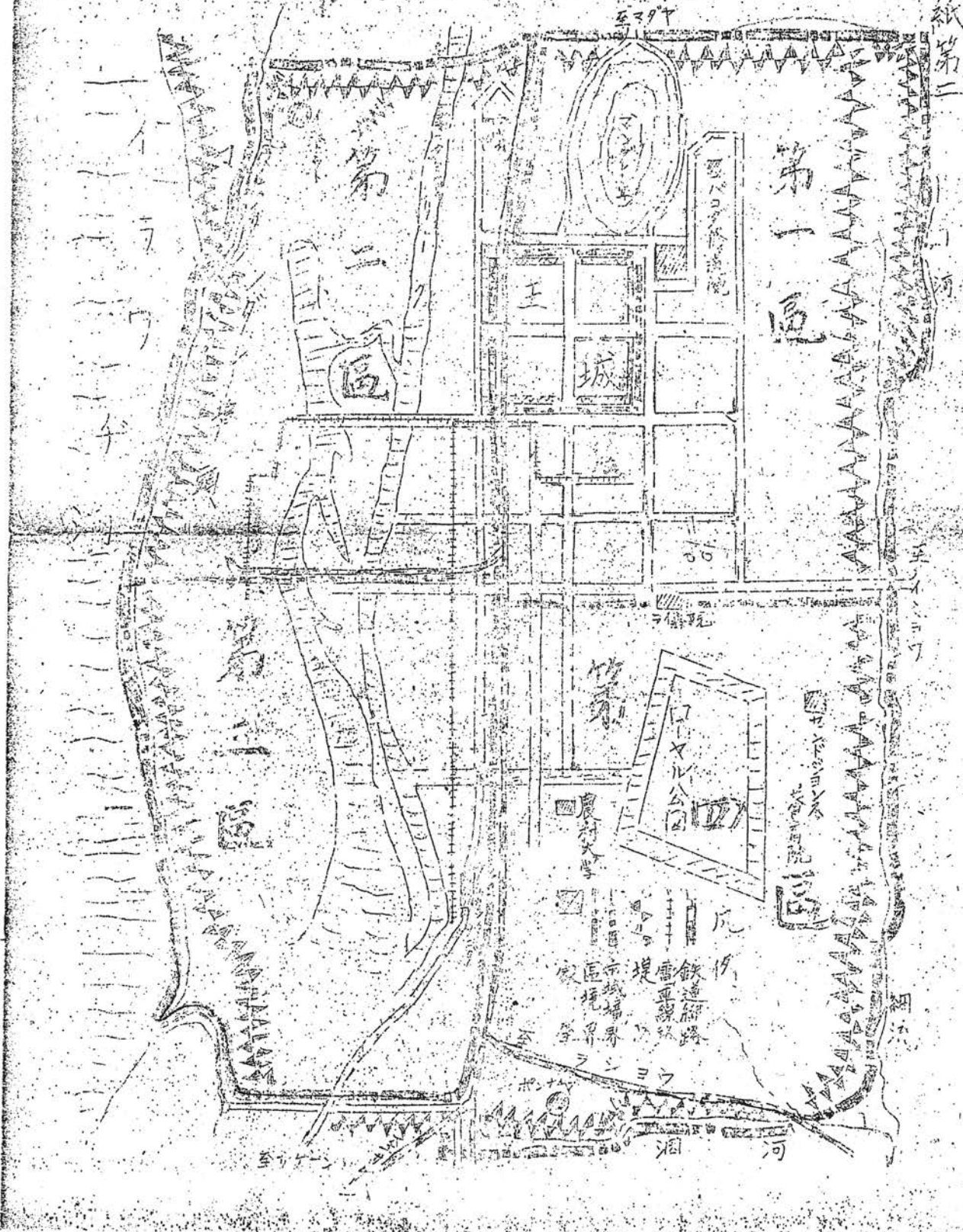
マシケリ駐屯地域要圖

別紙第一



ワシントン市域及境界要圖

別紙第二



一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十

五ノトシヨフ

管院區

河

別紙第三  
駐屯地衛兵の編成任務及差出區分表

編成

衛兵名稱	兵	力	備
東部、南部	長	一	一長以下三官一八下士官勤務兵
北部、アキラ	歩哨掛兼 管舎掛	一	長止ムラ得ノレハ兵長トス
各衛兵	歩哨	三	二歩哨掛兼衛舎掛ハ兵長又 ハ上等兵止ムラ得ナレハ一等兵トス
西部衛兵	長 歩哨掛兼 管舎掛 歩哨	一 一 一	三歩哨ハ兵又ハ兵補トス
備考	一警戒、歩哨(軍哨)及巡察ヲ以テス 二交代、日直勤務トシモ日二〇〇交代トス 三服装、軍装ニシテ履キ包各人十五發携行スルモノトス但シ担任部隊長於 四假眼、壹反共概ハ三分一トス但シ兵補ノミヲ以テ服務セシムモノトス		

任務

- 一 對空對地上警戒ヲ嚴ニス
- 二 通行人車馬特ニ自動車ノ入出ニ係リ且居住民ノ動靜ヲ監察ス
- 三 西部衛兵ハ主トシテ「イラワジ」河護岸ニ任スルノ外前哨點ニ等シ
- 四 此列隊則其他部隊ニ就テハ夫々担任部隊長ニ於テ規定ス

差出區分

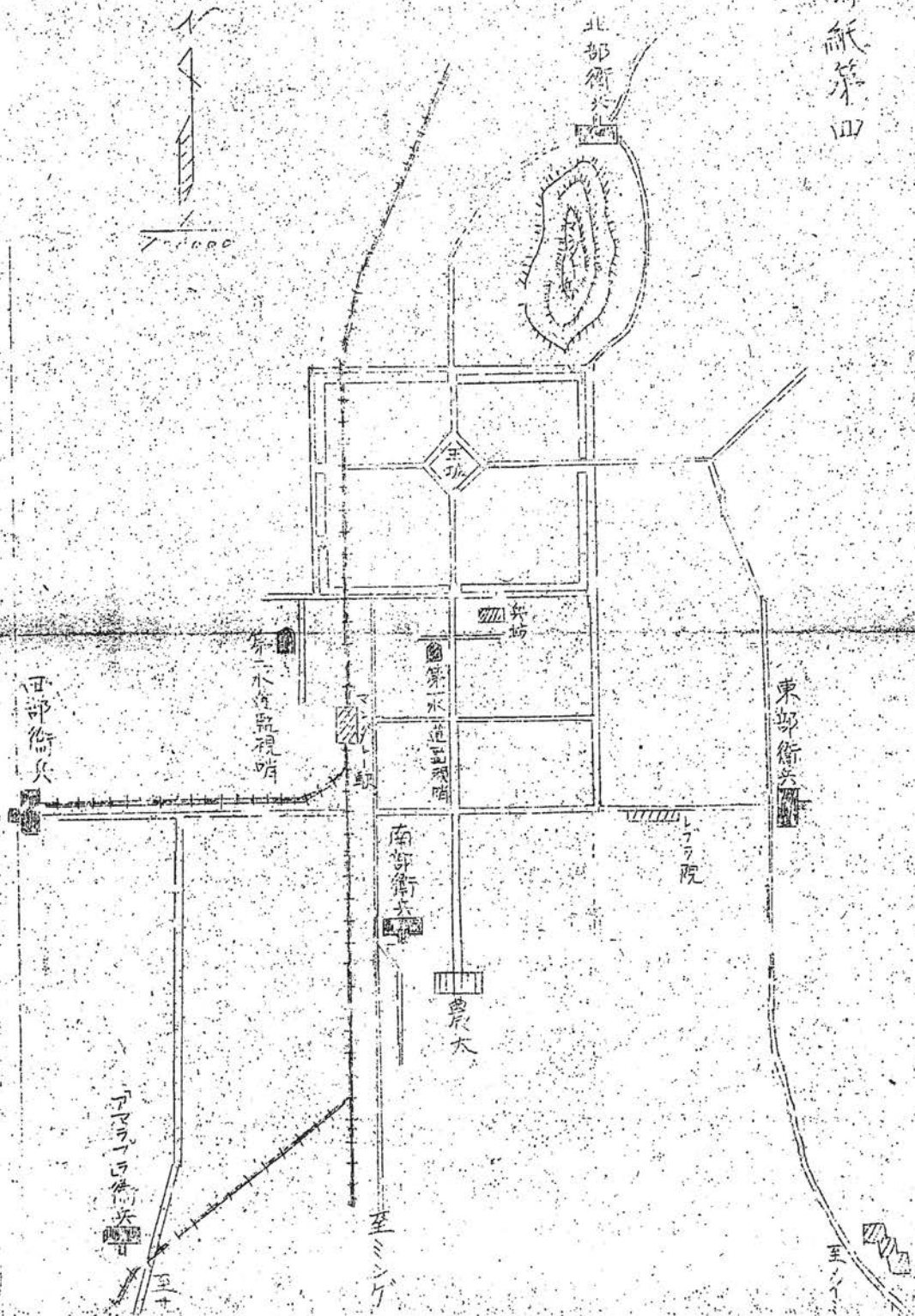
衛兵種類	差出	擔任部隊
東部衛兵	兵站警備隊	
西部衛兵	水上勤務第ニ二三中隊	
南部衛兵	(獨立自衛隊) 第一中隊 (獨立自衛隊) 第二中隊 (獨立自衛隊) 第三中隊 (獨立自衛隊) 第四中隊 (獨立自衛隊) 第五中隊 (獨立自衛隊) 第六中隊 (獨立自衛隊) 第七中隊 (獨立自衛隊) 第八中隊 (獨立自衛隊) 第九中隊 (獨立自衛隊) 第十中隊	
北部衛兵	(特設連隊) 第一中隊 (特設連隊) 第二中隊 (特設連隊) 第三中隊 (特設連隊) 第四中隊 (特設連隊) 第五中隊 (特設連隊) 第六中隊 (特設連隊) 第七中隊 (特設連隊) 第八中隊 (特設連隊) 第九中隊 (特設連隊) 第十中隊	
アキラ衛兵	兵站警備隊	
備考	一 北部衛兵、服務ニ就テ右表ニ據ル兩部隊長協定、上交ニ服務スルモノトス 二 西部衛兵、差出担任部隊自隊、任務衛兵ヲ兼務セシムモノトス	



警備衛兵等配置要圖

別紙第四

イライ川



別紙第五

各種警報の種類及傳達法

警報種類	非常警報	空襲警報	同解除	火災警報	備考
發令官	官令司令部地七駐				其他
サイレン汽笛	三秒間 五回	連續音	其他警鐘等ヲ利用スルモノトス		
喇叭	所定ノ號音				
其他	傳令	電話			

傳

達

法





別紙第七

マンダレー駐屯部隊暗號作業擔任區分表

陸軍暗號書ニ依ル電報ニ關シテハ左記上段部隊ハ夫々中段及下段部隊、電報ノ組立翻譯ヲ擔任シ、緬甸後方部隊用暗號書ニ依ル電報ニ關シテハ中段部隊ハ自隊關係、外下段部隊、電報ノ組立翻譯ヲ擔任スルモノトス

左記

陸軍暗號書ニ依ル電報取扱擔任部隊名	緬甸後方部隊用暗號書ニ依ル電報取扱擔任部隊名	電報依頼部隊名
	駐屯地司令部	水上勤務第三十三中隊 獨立自動車第三百六十一中隊 聯隊第二中隊 海軍局
駐屯地司令部	駐屯地司令部	陸上勤務第七十九中隊 第十一特設鐵道運輸隊 在サゲン駐屯各部隊 聯重兵第三十一聯隊 通過波瀾留部隊其他
	マンダレー貨物支廠 獨立自動車第五十九大隊 第五十三兵站地區隊	第三三野戰郵便所 前經理部出張所 特設建築勤務第三十八中隊 波河村科第十四中隊 第十三兵站病馬支廠 特設陸上勤務第十中隊
第五十三兵站地區隊	マンダレー自動車支廠	軍馬防疫班 患者輸送第七十一小隊
	マンダレー兵器支廠	特設水上勤務第二十一中隊



別紙第九

日課時限ノ基準

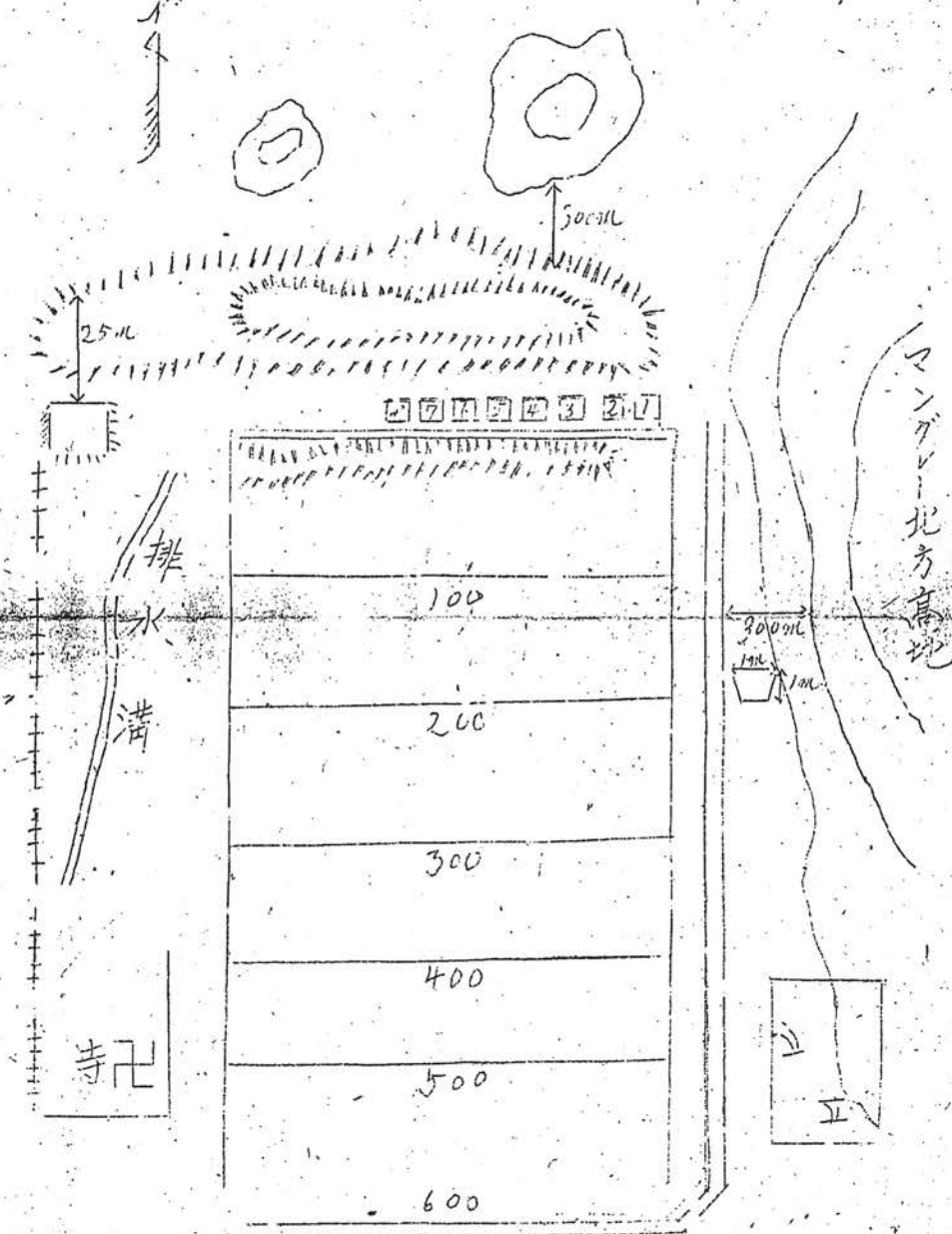
日	起	朝	教育訓練其他	晝	業務終了	夕	消
十月	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三月	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四月	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇
九月	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇

備考  
 細部ハ各部隊長ニ於テ是レ  
 各部隊長ハ業務ノ都合ニ依リ本表時限ヲ変更スル  
 コトヲ得



小銃射撃場(機関銃、擲弾筒、榴弾ヲ含ム)

別紙第十



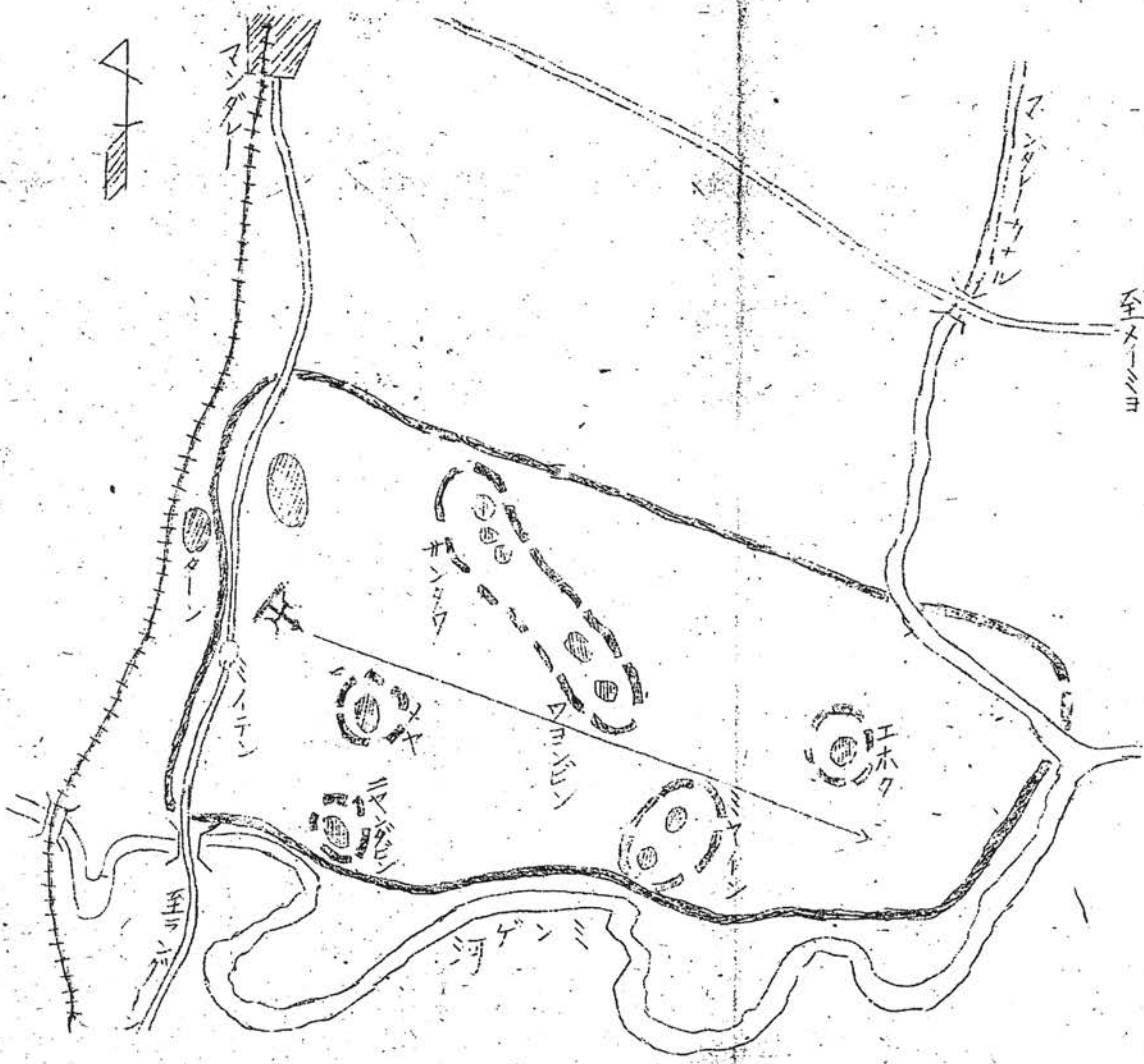
別紙第十一

火砲射擊要圖

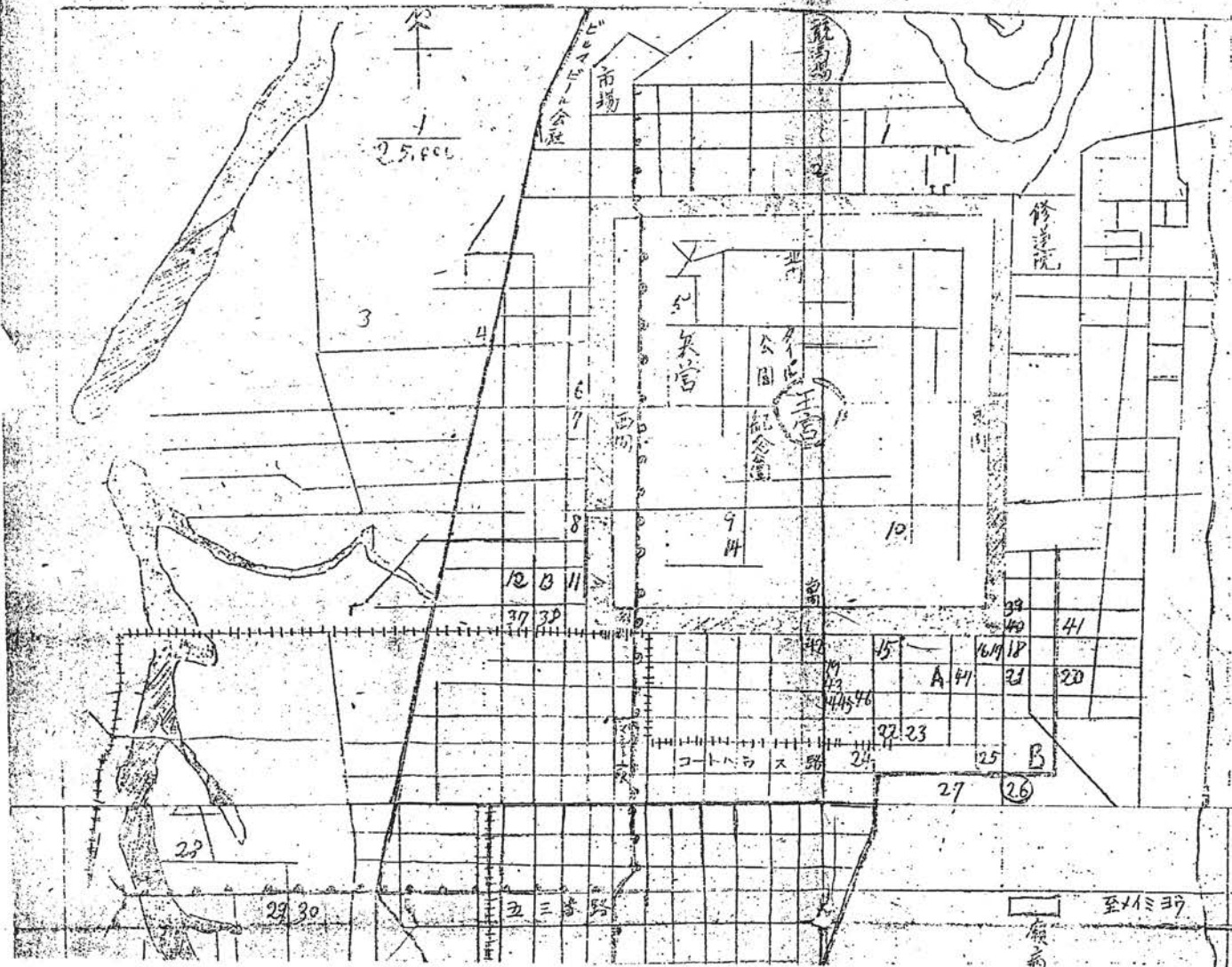
使用上注意

一 射撃は得火砲は遠射砲以下より  
二 黒丸線画域内は射撃台場合立除き要す

至メーゴ



マングレ山駐屯地配衛要圖其ノ一



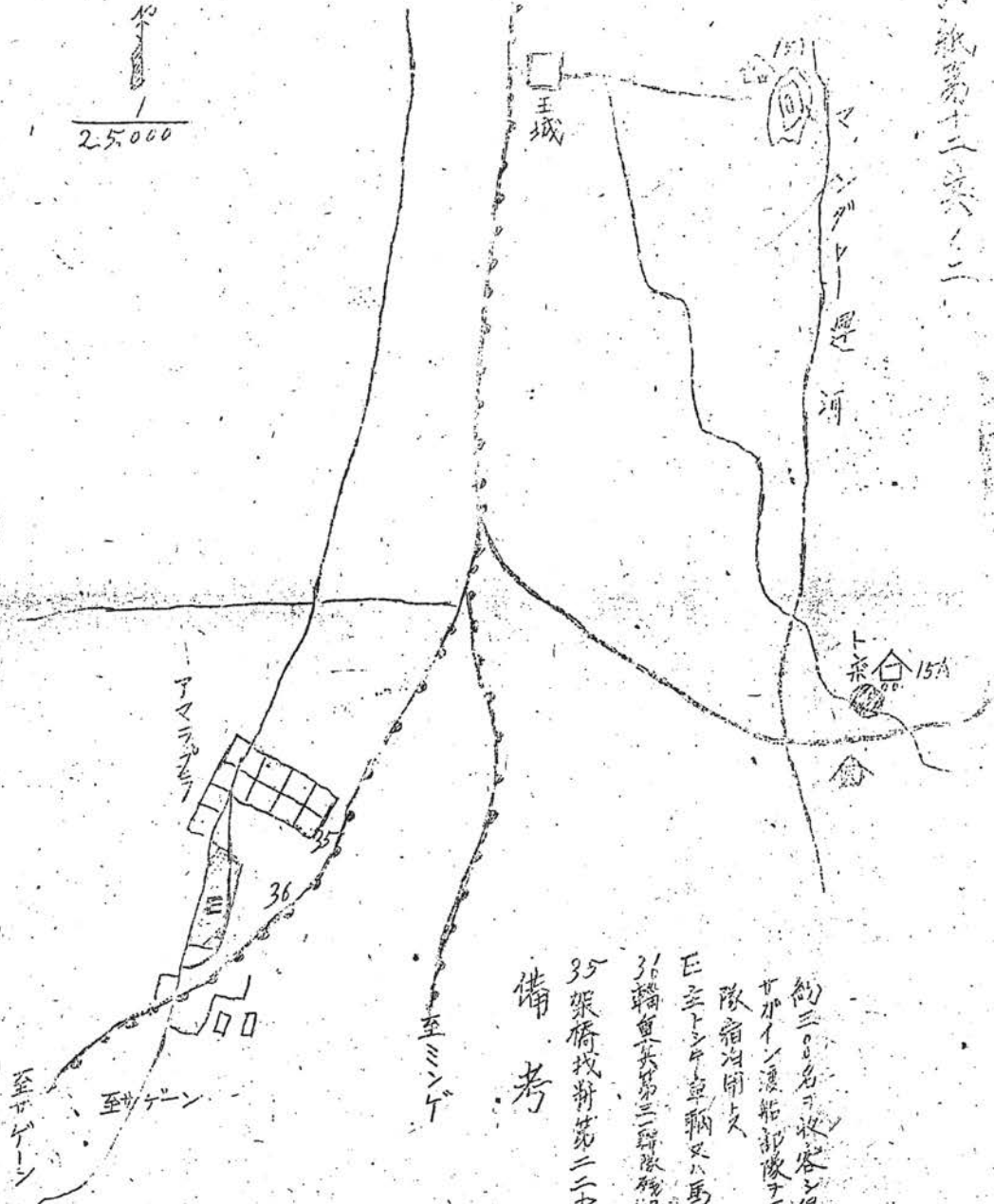
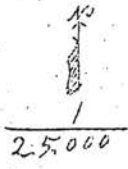
別紙第十二其ノ一



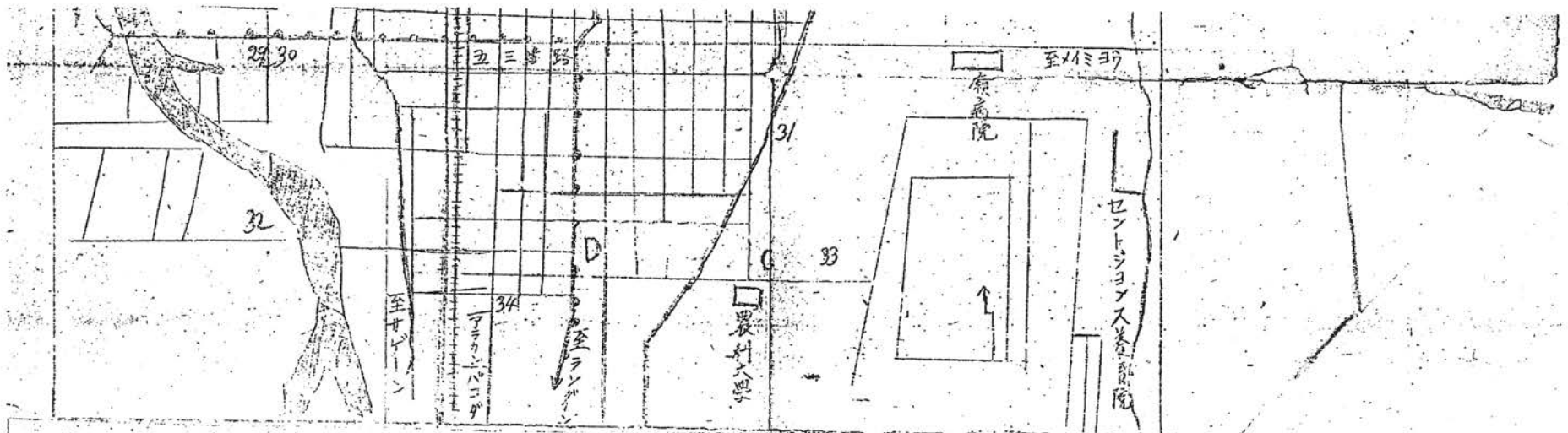
「マングレ」駐屯地配宿要圖其ノ二

副紙第十二卷之二

イ  
ラ  
ブ  
ゲ  
河



約三〇名ヲ收容シ得  
 甘カイン渡船部隊ヲ可トス  
 隊宿泊所トス  
 E三トシテ車輜又ハ馬匹部  
 31 輪輿兵隊第三隊隊務留隊  
 35 架橋隊第二中隊  
 備考



双葉第一中隊	双葉第一中隊	
双葉第二中隊	双葉第二中隊	
双葉第三中隊	双葉第三中隊	
双葉第四中隊	双葉第四中隊	
双葉第五中隊	双葉第五中隊	
双葉第六中隊	双葉第六中隊	
双葉第七中隊	双葉第七中隊	
双葉第八中隊	双葉第八中隊	
双葉第九中隊	双葉第九中隊	
双葉第十中隊	双葉第十中隊	
双葉第十一中隊	双葉第十一中隊	
双葉第十二中隊	双葉第十二中隊	
双葉第十三中隊	双葉第十三中隊	
双葉第十四中隊	双葉第十四中隊	
双葉第十五中隊	双葉第十五中隊	
双葉第十六中隊	双葉第十六中隊	
双葉第十七中隊	双葉第十七中隊	
双葉第十八中隊	双葉第十八中隊	
双葉第十九中隊	双葉第十九中隊	
双葉第二十中隊	双葉第二十中隊	
双葉第二十一中隊	双葉第二十一中隊	
双葉第二十二中隊	双葉第二十二中隊	
双葉第二十三中隊	双葉第二十三中隊	
双葉第二十四中隊	双葉第二十四中隊	
双葉第二十五中隊	双葉第二十五中隊	
双葉第二十六中隊	双葉第二十六中隊	
双葉第二十七中隊	双葉第二十七中隊	
双葉第二十八中隊	双葉第二十八中隊	
双葉第二十九中隊	双葉第二十九中隊	
双葉第三十中隊	双葉第三十中隊	

計開 考

A 六〇〇名  
B 五〇〇名  
C 三〇〇名  
D 三〇〇名  
隊常備員  
歩兵  
主トシテ

別紙第十三

マシタレ駐屯地区内軍指定飲食店表

一 マシタレ 食堂

二 錦水閣

三 戦友食堂

四 白の丸屋

五 兵站酒保

六 瓦城園





別紙第十四

「コンダレ」駐地診療担任區分表

昭和三十三  
「コンダレ」駐司

診療擔任部隊

診療被擔任部隊

獨立自動車第五十九大隊

第十一特設鐵道運輸隊

緬甸方面軍

通 部 部

野戰自動車廠「コンダレ」支廠

第二野戰航空補給廠  
第一支廠「コンダレ」出張所

緬甸方面軍

野戰貨物廠「コンダレ」支廠

步兵第六百二十四聯隊第二中隊  
第五特設鐵道橋梁隊  
「コンダレ」出張所

第三百三野戰郵便所

陸上勤務第七十九中隊

緬甸方面軍傳書使路連所

第五野戰輸送司令部

架橋材料第三中隊津久井隊

陸上勤務第三十三中隊

第五航空地區司令部「コンダレ」出張所

緬甸方面軍緬甸海軍局「コンダレ」支局

野戰直射砲第五十一大隊

第五特設鐵道工隊高橋隊

患者輸送第五十八小隊

第六百六十一停車場司令部

「コンダレ」患者集合所

「コンダレ」地區憲兵分隊

患者輸送第七十一小隊

第七大田園經理部「コンダレ」出張所

第五十三基地之隊

通 部 部